



「ありがとう！25周年」 骨髄バンク設立 25 周年記念 全国大会を開催します。詳細は HP をご覧ください。

日本骨髄バンクの現状（平成 28 年 7 月末現在）

	6 月	7 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,100	2,974	463,465	675,042
患者登録者数	282	271	3,226	48,616
移植例数	146	118	—	19,747

■7 月年代別ドナー登録者数（現在数）

10 代	3,541 人
20 代	70,177 人
30 代	140,867 人
40 代	195,880 人
50 代	53,000 人

■7 月の 20 歳未満の登録者 360 人

■7 月の区分別ドナー登録者数： 献血ルーム／1,017 人、献血併行型集団登録会／1,878 人、集団登録会／23 人
 その他／56 人

■7 月末までの末梢血幹細胞移植 (PBSCT) 累計数：199 件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 造血幹細胞移植推進拠点病院との連携

第 3 回拠点病院連絡会議（厚生労働省主催）が 6 月 27 日に大阪市立大学医学部附属病院で開催されました。第一部は人材育成事業における今後の日本造血細胞移植学会との連携について、第二部は①拠点病院事業報告ならびに今後の取り組み、②コーディネート期間短縮化、に関する報告と意見交換がなされました。

その中で大阪市立大学医学部附属病院から提案があり、近畿地区でメーリングリストを用いて各採取施設の受け入れ可能枠を情報共有し、期間短縮につなげる試みを 6 月から始めました。コーディネート期間短縮に向けた具体的な施策の検討も始めており、今後も拠点病院や厚生科学研究班と連携して取り組んでまいります。

一方、各地区の医師やコーディネーター等が参加する合同会議は今年から拠点病院が主催し、当法人の地区事務局が協力しています。本年 2 月に近畿地区、7 月に関東地区で開催され、10 月以降に東北、中四国、中部の各地区で開催します。拠点病院が主催することで、医師のみでなく移植コーディネーター (HCTC) や病院スタッフなどが参加しやすくなり、関係者との連携強化が期待されます。

2 「ダンロップ・スリクソン福島オープン」で骨髄バンク PR と募金活動

7 月 21 日から 24 日の 4 日間、「ダンロップ・スリクソン福島オープン」がグランディ那須白河ゴルフクラブ（福島県西白河郡）で開催され、骨髄バンク PR と募金活動を実施しました。東日本大震災復興のため 3 年前から開催されており、福島県のボランティアのご協力で日本骨髄バンクのブースを毎年出展しています。

今年は、大会のオフィシャルパートナーであるアイランド薬局様のご厚意で、コッコとズーズのキャラクターが描かれた団扇を作成いただき、来場者に配布しました。また、アイランド薬局社員の方々が、骨髄バンクのたすきをつけて PR してくださいました。

ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

3 「子ども霞が関見学デー」で体験型イベントブースを出展

「子ども霞が関見学デー」が7月27日と28日に各府省庁で開催されました。当法人とさい帯血バンクで「生きるチャンスを広げる～お医者さんになって造血幹細胞移植のお手伝いをしよう！～」と題したイベントブースを厚生労働省講堂に出展しました。2日間で452名の来場がありました。子どもたちは「白血病」や「ドナー」に関するマンガ冊子を読んでクイズに答えた後、「骨髄液」や「臍帯血」を採取し、採取した造血幹細胞を患者さんのもつに届ける一連の流れを疑似体験しました。最後に、アンケートに答えてもらい、記念品を進呈しました。

4 「広報推進委員会」開催

広報推進委員会が2年ぶりに設置されました。マスメディアや広告、マーケティングなどの有識者10名で構成されます。8月2日の第1回会議では、設置の趣旨、当法人の現状や問題点を説明し、具体的な検討課題を提示しました。若年者層ドナー登録拡大に向けた広報や効果的パブリシティ施策の検討を重点的に行うとともに、ドナーリテンションに有効な広報や寄付増加につながる広報活動を検討していきます。

5 新たに4市区町でドナー助成制度スタート

骨髄バンクを通じて造血幹細胞を提供したドナーのための助成制度が新たに4市区町でスタートしました。導入している市区町村は全国で176になります。

助成内容は、直接、各自治体にお問い合わせください（ホームページにお問い合わせ一覧を掲載していません）。

【新たに導入した自治体】

○茨城町（茨城県） ○品川区（東京都） ○井原市（岡山県） ○高松市（香川県）

6 ジャパンキャンサーフォーラムにブース出展

「ジャパンキャンサーフォーラム2016」が8月6日から2日間、コンgresクエア日本橋（東京都中央区）で開催されました。がんを「知り」、最新のがん医療や課題を「学び」、がん患者・家族・医療従事者・市民が「集う」ことで勇気や希望が持てる場とする日本最大級のがんフォーラムで、3年目を迎えます。当法人は、今年初めて出展しました。主催はNPO法人キャンサーネットジャパンで、2日間の来場者数は2,106名でした。がん専門家によるセミナーのほか、多くの患者会や支援団体がブースを出展しており、盛況でした。

詳細は、ホームページをご参照ください。（<http://www.cancernet.jp/jcf/about/>）

7 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	9月16日（金）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

8 厚生労働科学研究事業「骨髄バンクコーディネーター期間の短縮とドナープールの質向上による造血幹細胞移植の最適な機会提供に関する研究」アンケート協力をお願い

マンスリーJMDP4月号で標題の研究（班長 福田隆浩先生 国立がん研究センター中央病院）と当法人の連携についてお知らせしました。本研究では、コーディネーターの実態を調査し、今後の運用について検討するため、日頃より骨髄バンク事業に協力いただいている医師・HCTCならびにバンクコーディネーターの皆さまにアンケートを実施します。8月下旬に発送し、締切は9月30日を予定しています。ご協力をお願い申し上げます。

なお、本研究に関する第一次調査結果「厚生労働科学研究等における解析結果『過去10年間における骨髄バンクコーディネーターの実態把握調査』（日本医科大学 平川経晃先生）を、当法人ホームページに掲載していますのでご覧ください。

HOME > 医師の方へ > 患者主治医の方へ > 解析結果など医療情報 >

■厚生労働科学研究等における解析結果「過去10年間における骨髄バンクコーディネーターの実態把握調査」（第38回 日本造血細胞移植学会総会で発表）

9 連絡事項

◆ ブラッシュアップ研修会＜コーディネーターの方へ＞

9月17日（土）・18日（日）に開催する第21回コーディネーターブラッシュアップ研修会のご案内資料を今月号に同封しますので、ご確認ください。

ブラッシュアップ研修会2日目は、医学講義のほか、グループ討議を予定しています。グループ討議内容は当日ご案内します。

◆ 資料送付について＜関東地区の調整医師及び採取責任医師の方へ＞

7月16日（土）に厚生労働省「造血幹細胞移植医療体制整備事業」として開催された平成28年度第2回造血幹細胞移植セミナー（関東地区ブロック会議）に欠席された方で、資料送付ご希望の方は、関東地区事務局（TEL:03-5280-4560）までご連絡ください。